



外部仕上表							
屋上	既存	2階屋根	均しモルタル下地、シート防水	大走り	既存	(西) 砕石敷き、 砕石コンクリートブロック (東) 砕石敷、砕石コンクリート、外側は平根ブロック敷	
	改修	庇 共	平根、立上り共、高圧水洗浄後、シートジョイント、ラップシート打ち トップコート塗り、既設排水金物取りシーリング打ち		改修	既設砕石均し 砕石コンクリートブロック 及び平根ブロック敷 については破損箇所は取替、レベル不均一の場合は、砂敷き均しの後据え置き工事	
	既存	遊戯室屋根	均しモルタル下地シート防水	玄関ポーチ	既存	床：モルタル金網坪、既設排水パイプ	
	改修	遊戯室屋根	既設シート防水、剥離後高圧水洗浄、ドレン処理、横スレーナーキヤップ新設、附置セメントベースト塗、平場>シート防水( シート厚1.2カラ―仕上げ中)エチレンホーム厚10) <立上り> シート防水( 厚1.2カラ―仕上げ 防水金物アルミF8取付けシール共)		改修	既設排水パイプ撤去後、下地処理の上、モルタル金網坪、ステンレスマット(600×1、800×15～17所、排水SM-15 両端新設) 加平受金物：新設φ(8K-3100B)11所 スロープ新設(別図参照)	
	既存	遊具室屋根	均しモルタル下地シート防水	整備	既存	便所排水管75φ、即ち金物丁番式、(壁上ルーフトレー 80φ、バルコニー、中間 ドレーン 80φ、銅製)	
	改修	遊具室屋根	平場、立上り共、高圧水洗浄後既存シート撤れケ修繕、シートジョイント、ラップシール打ち、トップコート塗、既設排水金物取りシーリング打ち		改修	既存整備撤去後、110φ排水パイプ75φ(排水ドレーン共) 排水通し排水パイプ新設	
	既存			床下換気口	既存	鉄鉄製 350×150	
	改修				改修	既設換気口撤去後、アルミバグパイプ、メタル厚2 (ステンレス厚2mm貼貼) 300×150 新設	
	既存			テラス部分	既存	人石及びタイル貼	
	改修				改修	既存全撤去 新設：コンクリート打設 FC=21+3N/mm <sup>2</sup> 、モルタル下地、平場、平場50角タイル貼、面は砕石(花崗岩本層)、ステンスツ	
	既存			湧し台	既存	人石及びタイル貼、土間コンクリート	
	改修				改修	既存全撤去(土間共) 新設：コンクリート打設 FC=21+3N/mm <sup>2</sup> 、モルタル下地、平場、平場50角タイル貼、面は砕石(花崗岩本層)、ステンスツ	
バルコニー	既存	床	モルタル防水金網仕上目地切	玄関ポーチ横手洗い場足洗い場	既存	人石及びタイル貼、土間コンクリート	
	改修	床	タイル、高圧水洗浄後タタリ、剥離、浮き等を補修の上ウレタン塗膜防水(踏歩行仕様) 15mm厚仕様(カラー)		改修	既存全撤去(土間共) 新設：コンクリート打設 FC=21+3N/mm <sup>2</sup> 、モルタル下地、平場、平場50角タイル貼、面は砕石(花崗岩本層)、ステンスツ	
バルコニー手摺	既存	コンクリート部分：(外)モルタル刷毛引、ボンタイル吹付 (内、笠木)モルタル刷毛引、タタリ吹付 鉄部：《手摺》□-100×50×5 DP (手摺子) □-16×22 φ150、DP		側溝	既存	U字型排水溝、排水パイプのカジコが新設(ケガれについては、係員の指示による)	
	改修	コンクリート部分：(内、外共)タイル、高圧水洗浄後タタリ、剥離、浮き等を補修、タタリ系パイプ処理の上、タタリ吹付 鉄部：3種タタリの上鉄止め (JIS K5625) F P2鋼板			改修	既存U字型排水溝、クレーンアップ	
軒裏、ベランダ裏庇裏	既存	コンクリート打し敷、目止め上、タタリ吹付(梁型共)		北側ポーチ	既存	150角タタリタイル	
	改修	タイル、高圧水洗浄後タタリ、剥離、浮き等を補修、シータ処理の上、タタリ吹付 (梁型共)			改修	(クラック、浮き等所) 150角タタリタイル貼替え(範囲は別図による)	
外壁	既存	モルタル刷毛引、タタリ吹付 階段室廻り (モルタル刷毛引、ボンタイル吹付)		飼育小屋	既存	屋根：小波スレート葺き◆	
	改修	タイル、高圧水洗浄後タタリ、剥離、浮き等を補修、タタリ系パイプ処理の上、タタリ吹付 階段室廻り：コンクリート打設 FC=21+3N/mm <sup>2</sup> W=180 モルタル刷毛引、タタリ吹付			北側門扉	既存	門扉：吹付タイル(模様大)◆
中木	既存	モルタル金網坪					
	改修	タイル、高圧水洗浄後タタリ、剥離、浮き等を補修、シータ処理の上、タタリ吹付 ◆24：木リシート離隔養生＋集塵装置付きディスクライナーケレン工法(※AD-010、011参照)					
テラスオープンローカ	既存	床：モルタル金網坪					
	改修	(タタリ、浮き、剥離部分)：タイル、高圧水洗浄後タタリ、剥離、モルタル浮き等を補修の上、モルタル金網坪					
器具	既存	木製遊具 アルミ遊具					
	改修	既設木製遊具はアルミサッシ(カバー工法)に取り替え 遊具室、用具室の東側アルミサッシは撤去後、在来アルミサッシに取り替え					

特記事項

※ 外部改修下地補修工事概要

- 高圧洗浄 ――― 高圧洗浄にて100～150kPaの圧力で水洗いし、旧塗装や汚れを剥離する。
- カチオン系フィラー処理 ――― 一般的にカチオン系フィラーの塗で劣化の激しい場合は防水、防水ポリマーセメント系塗料を塗布、下地の劣化が激しい場合はワイヤーブラシサンダー掛けを行い、全面ケレン後、ポリマーセメント系下地調整材をフィラーブラシで塗りつける
- ケレン ――― ディスクサンダーワイヤーブラシ等を用い、劣化部、エフロ等を完全剥離(3種ケレン)
- モルタル・コンクリート 補修方法
- ※ クラック部
- ・巾0.5mm程度以上の構造クラック部については、Uカット(巾 6～10mm、深さ 10mm、清掃、プライマー処理の上、シール充填、エポキシ樹脂モルタル塗)
  - ・巾0.5mm未満のクラック部についてはシール工法(巾 10mm、厚 2mm程度、パテ状エポキシ樹脂塗布)とする
- ※ 浮き部 (SUS 304 呼び径 4mm の丸棒で全ネジ抜く)
- ・巾0.25m以上 アンカーピンニング併用工法 全面エポキシ樹脂注入工法 (13+12mm<sup>2</sup>)
  - ・巾0.25m未満 アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 (25mm<sup>2</sup>)
- ※ 剥離部 (工法 乾置、ポリマーセメント充填工法)
- <鉄筋が露出している場合>
1. 剥離部分を鉄筋の健全部が露出するまでコンクリートをハズリ、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去する
  2. アルカリ阻害剤によりコンクリートの中性化処理
  3. エポキシ系防錆塗料により防錆処理
  4. プライマー塗布
  5. 乾置、ポリマーセメントを充填し、金コテ仕上
- <鉄筋が露出していない場合>
1. コンクリート脆弱部をハズリ落とし、清掃又は洗浄
  2. プライマー塗布
  3. 乾置、ポリマーセメントを充填し、金コテ仕上
- ※ シーラー及びフィラー・ポリマーセメントは全て仕上材料メーカーと同一メーカーのものとし、仕上材料に適合するものとする
- ※ 剥離、クラック、浮き等の補修は専門業者の責任施工とする

塗装改修仕様書


- 施設大臣官庁官庁整備部 監修 建築改修工事共通仕様書 (平成10年版)
- 施設大臣官庁官庁整備部 監修 建築改修工事 施工関係指針 (平成10年版)
- 施設大臣官庁官庁整備部 監修 建築工事共通仕様書 (平成9年版)
- 施設大臣官庁官庁整備部 監修 建築工事 監理指針 (平成9年版)
- ・ 上塗りの塗料は、原則として指定された色及び製法に製造所において調合する。ただし少量の場合は同一製造業者の塗料を用いて、現場調合とすることとする
  - ・ 塗料は未開封のまま工事現場に搬入する
  - ・ 塗料類、その他、灰等汚染、損傷を避けるように注意し、必要に応じてあらかじめ、塗装箇所周辺に適切な養生を行う
  - ・ 仕上げの色合いは見本帳、又は 見本塗料を監督員に提出し承認を受ける
  - ・ 工事塗装を行ったものは、工事現場撤去後に清掃のある箇所を直ちに補修する
  - ・ 外部の塗装は、降雨の恐れのある場合、及び撤去時には原則として行ってはならない
  - ・ 塗料は使用直前に良くかき混ぜ、必要に応じてこねて行う
  - ・ 破損部はJIS R6251(耐腐蝕)及びJIS R6252(耐腐蝕)により、耐水耐腐蝕はJIS R6253(耐水耐腐蝕)
  - ・ 面の状況に応じて、面のくぼみ、すき間、目違い等の部分にパテをへら、又はコテでなるべく高く揃いつける
  - ・ 下地調整は1級による、特記がなければR1種とする。塗料でR1種の場合の既存塗膜の除去範囲は特記による
- 特記がなければ塗料面積の30%とする

防水改修工事特記仕様書

- ・ 一般事項
  - ・ 既存部分養生
  - ・ 既存防水層の撤去
  - ・ 既存下地の補修、及び、処理
- 既設防水層を撤去した結果、下地等が設計図面により施工を実施するのが不適当な場合は、監督員と協議する
- 工事範囲以外の既存部分は養生、シート等で損傷を避けるように処置すること
- 防水層の撤去は、下地に損傷を避けるように行う
- ・ 下地に付着している防水層残存物のケレン、及び、清掃を行う
  - ・ 全面改修の場合は、高圧洗浄(150kg/cm<sup>2</sup>)を行う
  - ・ コンクリート面等の凹凸部は、アスファルトルーフコーティングで補修する
  - ・ 排水処理は、排水に支障のない程度とする
  - ・ 不陸、部分防水は、不良がある場合は、ポリマーセメントモルタルで補修する
  - ・ 既存防水下地の表面は、層間接着用プライマーにより、新規防水層との接着性を良くする。

※ ◆ アスベストの含有仕上材等の使用がある箇所を示す

【解体工事】

工事名	岡山市立操南幼稚園園舎改築工事					N.0.	 1級建築士事務所 長崎平倉組 第13060号 1級建築士 第132370号 東元 久雄 〒700-0838 岡山市北区京町10番2号 Tel: 086-225-1367 Fax: 086-223-2070
図面名	外部仕上表					縮尺 (A1) NON-SCALE (A3) NON-SCALE	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和 8年 3月	承認	検印	製図
課長	課長補佐	係長	課員	担当席			